

— みづみづとしてわが胸に沁む —

クラシックから昭和歌謡まで

短歌と音楽

わが死後もなにひとつとてかはらずに音楽はありヨハン・セバスチアン・バッハ

帰省したとなりの娘さん弾いてゐる「エリーゼのために」ちちはは父母のために

いまだおさげのゆり子先生「青い山脈」の歌を教へきわれら児童に

倍賞千恵子「下町の太陽」ながれたりなみだこぼるごとくにも思ふ

ある日聞く「東京だヨおつ母さん」はみづみづとしてわが胸に沁む

2027年 2月27日(土) 14:00開演(13:30開場)

会場 日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)シアターホール

仙台市地下鉄南北線
「旭ヶ丘駅」徒歩3分

全席指定 2,600円(当日2,800円)

前売開始 2026年11月17日(火)10:00～

※「仙台市市民文化事業団友の会」「仙台文学館友の会」会員は、前売券のみ2,300円。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

第1部 朗読と音楽 【朗読】戸石 みつる (演劇家・俳優)、上島 奈津子 (俳優) 【音楽】榊原 光裕 (音楽家・ピアニスト)

第2部 対談 小池 光 (歌人) × 小島 ゆかり (歌人)

歌人・小池光 短歌と音楽

— みづみづとしてわが胸に沁む —
クラシックから昭和歌謡まで

宮城出身の歌人・小池光の短歌には、クラシック、洋楽、邦楽、映画音楽、歌謡曲など、さまざまなジャンルの音楽が登場します。今回は多岐にわたる小池光の作品の中から「音楽」に焦点を当て、その作品世界を朗読とピアノの生演奏でお届けします。言葉の中に眠っていた旋律が音楽とともに立ち上がる、贅沢なひとときをお楽しみください。

出演者プロフィール



撮影：佐々木 隆二

対談

小池 光 (こいけ・ひかる)

歌人

1947年宮城県柴田町生まれ。東北大学理学部大学院修了。1972年「短歌人会」に入会。第2代仙台文学館館長(2007年4月～2020年3月)。2011年、『山鳩集』で小野市詩歌文学賞を受賞。2012年、『うたの動物記』で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。2013年春、紫綬褒章を受章。2016年、『思川の岸边』で読売文学賞を受賞。2020年秋、旭日小綬章を受章。2022年、『サーベルと燕』で現代短歌大賞、詩歌文学館賞を受賞。評論集に『茂吉を読む 五十代五歌集』『石川啄木の百首』など。読売新聞、北國新聞などの歌壇選者をつとめる。

対談(聞き手)

小島 ゆかり (こじま・ゆかり)

歌人

1956年愛知県生まれ。東京都在住。早稲田大学文学部卒業。コスモス短歌会代表。NHK全国短歌大会選者、産経歌壇選者、短歌甲子園特別審査員、放送文化基金ラジオ部門審査委員長など。

追空賞(歌集『憂春』)、齋藤茂吉短歌文学賞(歌集『泥と青葉』)、芸術選奨文部科学大臣賞(歌集『馬上』)、大岡信賞(歌集『雪麻呂』)など。2017年紫綬褒章。ほかに『和歌で楽しむ源氏物語』、短歌エッセイ集『サイレントニャー』。



朗読

戸石 みつる (といし・みつる)

演劇家・俳優

1955年秋田県秋田市生まれ。父の転勤に伴い秋田市、下関市、長岡市、青森市を転々とし、高校・予備校時代を仙台市で過ごす。民本主義を唱えた古川出身の政治学者吉野作造は大伯父に、また太宰治の最後の弟子であった仙台出身の作家、戸石泰一は伯父にあたる。1979年オンシアター自由劇場入団、串田和美・吉田日出子・笹野高史の各氏に師事。『上海バンスキング』『もっと泣いてよフラッパー』『12人の怒れる男』等々に出演。



朗読

上島 奈津子 (かみじま・なつこ)

俳優

宮城県仙台市生まれ。舞台公演や朗読、映像、ラジオドラマ、MC等、仙台で多岐に渡り活動している。近年では音楽アーティストとのコラボレーションも多い。2011年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

【最近の出演作】 みやぶんワンコインシアター「死にたくごさいませぬ〜太宰治の手紙〜」、劇団鳥や「鬼子母火」、オトノワ「動物の謝肉祭」、コマイぬ「お母さんは大丈夫」、天球座標「さきのぼし」、仙臺まちなかシアター「火の魚」他。



音楽

榊原 光裕 (さかきばら・みつひろ)

音楽家・ピアニスト

宮城県仙台市生まれ。東北大学在学中、さとう宗幸「青葉城恋唄」のレコーディング・ピアニストを務めた。パークリー音楽大学でジャズを学び、帰国。JR仙台駅の国内初の発車メロディを作曲、「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の創始、すずめ通りの現代化に尽力するなど「楽都仙台」の立役者の1人として、令和7年、宮城県より観光功労者、仙台市より市政功労者として表彰された。また宮城教育大学など各大学にて講師をつとめた。

プレイガイド

ウェブ

仙台市市民文化事業団公式サイト
(座席指定可) チケット購入はこちらから <https://ssbj.jp/ticket/>

●チケットぴあ(Pコード:545-519) ●ローソンチケット(Lコード:22760)

電話

●仙台市市民文化事業団 総務課企画調整係
TEL:022-727-1875(平日9:30~17:00)

窓口

●日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
1階事務室(9:30~19:30 ※休館日を除く)
●仙台銀行ホール イズミティ21
1階事務室(9:30~19:30 ※休館日を除く)
●藤崎

「仙台文学館友会の会」の割引は、仙台文学館(電話)、日立システムズホール仙台(窓口)、仙台銀行ホール イズミティ21(窓口)でのみ可能です。

会場と交通のご案内

至泉中央 至南光台
旭丘小学校
日立システムズホール(仙台市青年文化センター)
至八乙女 至中央
北根交差点
仙台市科学館
仙台文学館
原森林公園
至仙台
旭ヶ丘駅 番出口
旭ヶ丘市民センター
日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)シアターホール
〒981-0904
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
022-276-2110
●仙台市営地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」下車
東1番出口より徒歩3分
●市営バス
バス停「旭ヶ丘駅」より徒歩2分

お問合せ

(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館
〒981-0902 宮城県仙台市青葉区北根 2-7-1

TEL 022-271-3020(平日9:00~17:00)
FAX 022-271-3044
MAIL bungakukan@sendai-lit.jp
WEB <https://www.sendai-lit.jp/>

仙台文学館は現在、大規模改修工事のため全館休館しています。当館でのチケット販売は行っておりませんので、ご購入は各プレイガイドをご利用ください。イベントに関するお問い合わせは随時受付しております。